

## ZK-80P 組立て説明書

### I. 部品表(組立て説明)

No.	名称	個数	場所	説明
001	ZK-80P 専用プリント基板	1		印刷のある面を上にして各部品を差し込み、下側から半田付けします。部品によっては、紙粘着テープで部品を固定しておくともやりやすいです。
002	ZK-80P 書込み済み PIC32MX170F256 B	1	IC1	IC は直接半田付けしないで、IC ソケットに装着します。
003	IC ソケット 28P	1	IC1	IC ソケットを、基板の図の位置に差込みハンダ付けします。IC ソケット自体は極性はありませんが、上に IC を載せる時の向きを間違えないための「へこみ」があります。基板上のマークに合わせてください。
004	積層セラミックコンデンサ 0.1 $\mu$ F(104)	2	C1、C2	部品に 104 と印刷してあるものです。極性はありませんので、向きは気にしないで装着してください。
005	積層セラミックコンデンサ 10 $\mu$ F(106)	3	C3、C5、C6	部品に 106 と印刷してあるものです。極性はありませんので、向きは気にしないで装着してください。
006	抵抗 10k	4	R1、R3、R4、R5	抵抗の帯にカラーコード 茶黒橙金 と印刷してあるものです。極性はありませんので、向きは気にしないで装着してください。
007	抵抗 1k	1	R2	抵抗の帯にカラーコード 茶黒赤金 と印刷してあるものです。極性はありませんので、向きは気にしないで装着してください。
008	LDO 7333-A	1	IC2	3 端子の部品です。丸い部分を基板上の印刷に合わせてください。
009	スライドスイッチ	2	SW1、SW2	極性はありませんので向きは気にしないで装着してください。
010	microUSB コネクタ	1	POWER	基板上のマークに合わせてください。
011	小型タクトスイッチ(グリーン)	16	0~F	基板上のマークに合わせてください。
012	小型タクトスイッチ(オレンジ)	9	RET、RUN、STORE、LOAD、RESET、 ADRS SET、READ INCR、READ DECR、WRITE INCR	基板上のマークに合わせてください。
013	ピンヘッダー 5P	2	LED-LEFT、LED-RIGHT	基板上のマークに合わせてください。
014	7セグメント LED モジュール	1	LED-LEFT、LED-RIGHT	装着したピンヘッダーの上に乗せて半田付けします。
015	圧電スピーカー	1	II	圧電スピーカーは TK-80 でも標準装備品ではありませんので必要になったときに取り付けてください。(取り付けると、最下段のキーがやや押しにくくなります。) 取り付ける場合は、極性はありませんので向きは気にしないで装着してください。
016	ボックスヘッダー 14P(2 $\times$ 7P)	1	CNI	外部キーボード(ZK-80-KB)やプログラム入力ロボット(ZK-80-PL)を使用する場合に取り付けます。(取り付けると、最下段のキーがやや押しにくくなります。) 取り付ける場合は切込み部分が下側になるようにして取り付けます。
017	ピンヘッダー 6P	1	ICSP	PIC32MX 内のファームを更新するときに必要になるコネクタです。通常は使用しません。

## 2. 動作確認

micro USB 経由で 5V を供給し、SW2 を ON にしてください。(SW1 は AUTO 側にしておきます。) 写真のように LED が点灯すれば正常です。



使用方法は <http://www.picosoft.co.jp/ZK-80P/>

または <http://www.picosoft.co.jp/ZK-80/>

をご覧ください。

ご質問は Facebook の公開グループ ORANGE pico

(<https://www.facebook.com/groups/orangepico/>)でお願いいたします。